

編集後記

本教育実践学研究は平成5年3月に創刊号が刊行されており、20年の歴史を刻んできた。創刊号の巻頭言で当時の毛利陽太郎学部長は、デューイの代表的な著作「学校と社会」が、シカゴ大学の研究紀要「エレメンタリー・スクール・レコード」に掲載された教育実践報告から生まれたことを紹介し、本紀要もまた新たな理論や教育政策を創造する主体的な教育実践研究を切り開く礎とならんことを希望されていた。今年度も、本学教員の他、研究生、大学院生、学部生や附属学校園の教員との共同研究論文など昨年度とほぼ同数の計17本が投稿され、本教育実践学研究は教育実践に関する研究発表の場として定着してきたと言える。今、国立大学法人教員養成大学は、国立大学改革の下、ミッションの再定義を問われ、本教育実践総合センターもまたその存在意義を明確に示さなければならない。創設者らの気概に思いを馳せ、本教育実践学研究の一層の充実を図っていききたい。

(鳥海 記)

編集委員

- 鳥海 順子 (委員長, センター長, 教育支援科学講座)
大隅 清陽 (教育実践総合センター運営委員・第2ブロック, 社会文化教育講座)
長島 礼人 (教育実践総合センター運営委員・第3ブロック, 科学文化教育講座)
蘆原 桂 (教育実践総合センター運営委員, 教育実践創成講座)
成田 雅博 (教育実践総合センター運営委員, 教育支援科学講座)
早川 健 (教育実践総合センター運営委員, 教育実践創成講座)

教育実践学研究 第19号

2014年3月31日発行

編集・発行者：山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター
〒400-8510 甲府市武田四丁目4-37
Phone：055-220-8325
Fax：055-220-8790
URL：<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>
E-mail：jissen@ml.yamanashi.ac.jp